

成果報告書

担当者：千田広幸、佐々木修、佐々木修一、桃田優子、田尻和之、平田統一、小野寺昭好

講座名：子牛の誕生？トラクタに乗ろう

実施日：平成 30 年 9 月 22 日(土)～23 日(日)

受講者数：25

定員数：25

目的

地域の子供達の畜産体験と命についての学び、併せて岩手大学の施設としての御明神牧場の紹介を目的として、小学生とその保護者を対象に、1泊2日の公開講座を開催した。

活動内容と評価

当日は参加者にトラクタ運転と牛の世話を体験させた。トラクタ体験では、参加者はトラクタ前方に付けたバールクラブという作業機を操作して約 300 kgの乾草ロールを掴んで持ち上げ、ラッピングマシンという機械に乗せ、ラップフィルムでぐるぐる巻きにした。その後、自分たちでラップしたロールにマジックでお絵描きをして楽しんだ。牛の世話体験では、牛舎内で黒毛和種の育成牛、繁殖牛への配合飼料の計量給与と粗飼料給与を体験した他、子牛に哺乳バケツでミルクを給与し、牛とのふれあいを楽しんだ。

さらに、牛の分娩観察を内容に取り入れるため、分娩予定日間近の2頭の母牛に予め分娩誘起処置をしておいた。1頭目の母牛は公開講座の開始時刻直前に分娩し、早めに現地に来ていた家族は観察できたが、2組の家族が見逃してしまった。しかし子牛は双子であったため、もう1頭の子牛の産まれる瞬間には全家族が立ち会うことができた。2頭目の母牛は初日の夜遅い時間の分娩で、すでに寝ている子供もいたが、眠い目をこすり起きて来て、ほぼ全員が観察した。しかし難産で、子牛は自発呼吸できず残念ながら斃死した。

このように1頭は残念な結果となったが、終了後の参加者アンケートでは「貴重な体験になった」「考えさせられる機会になった」との声が寄せられ、参加者は前向きに捉えているようであった。他にも「初めて乗り物を運転して面白かった」「子牛とふれあえて楽しかった」「また来たい」などの声が寄せられた。全体の評価は「とても楽しかった」「楽しかった」「ふつう」「やや不満」「不満」という5段階評価のうち、「とても楽しかった」が73%、「楽しかった」が27%で、高い評価を得られた。